

環境経営情報システム

環境経営情報システム

事業活動全体の環境負荷を把握し、効率的に負荷を削減し、経済効率の高い環境活動を行うためには、IT技術の活用は欠かせない条件です。リコーグループは、環境負荷情報システムや環境会計システムなど、さまざまな情報システムを構築し、先進的な環境活動に役立てています。

目標と進捗状況

2000年度末までに、複写機、ファクシミリ、レーザープリンター分野の環境負荷情報システムを構築する（それ以外の分野は2001年度末までに構築）。

- ▶現在、一部の事業所で、製造工程の負荷情報収集データベースおよび廃棄物計量システムが稼働開始し、電力モニタリングシステムの試行が始まりました。使用工程の製品情報については、製品情報システムが稼働を開始しています。保守工程では、環境側面データ入力データベースの運用を開始しました。設計・調達工程などについてもシステムを作成し、試行を開始しています。

環境会計、環境改善事例、法規制、環境ラベル、顧客情報の収集と発信システムを2000年度末までに構築する。

- ▶1999年度、環境会計情報システムとして費用集計システムの構築が完了、1999年下期よりリコーで稼働しています。
- ▶1999年度現在、リコーの社内ITシステム上に、環境関連法規改訂情報データベース、環境ラベルフォーラム、製品リサイクル/省エネ規制データベース、社外問い合わせデータベース、ホームページ問い合わせデータベース、販売系環境フォーラム、事業所廃棄物データベース、フォーラム(CO₂)などのシステムが構築されています。

環境負荷情報システム

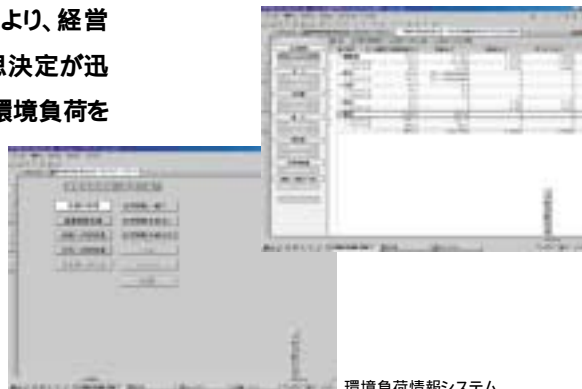
資材の調達から製造・流通・使用・保守・回収・リサイクルに至るまでの環境負荷を、エコバランス*1に基づいて把握・分析するためのシステムです。リコーグループだけでなく、仕入先様とのネットワーク化も進め、製品の設計データをもとに、製品のライフサイクル全体の環境負荷を把握できるシステムも稼働しています。部門別・製品別の環境負荷を把握することにより、経営や製品開発などのための意思決定が迅速に行え、事業活動や製品の環境負荷を効果的に削減できます。また「タイプIII環境宣言*2」などによる積極的な情報開示も、このシステムが可能にしました。

*1 11ページを参照。

*2 35ページを参照。

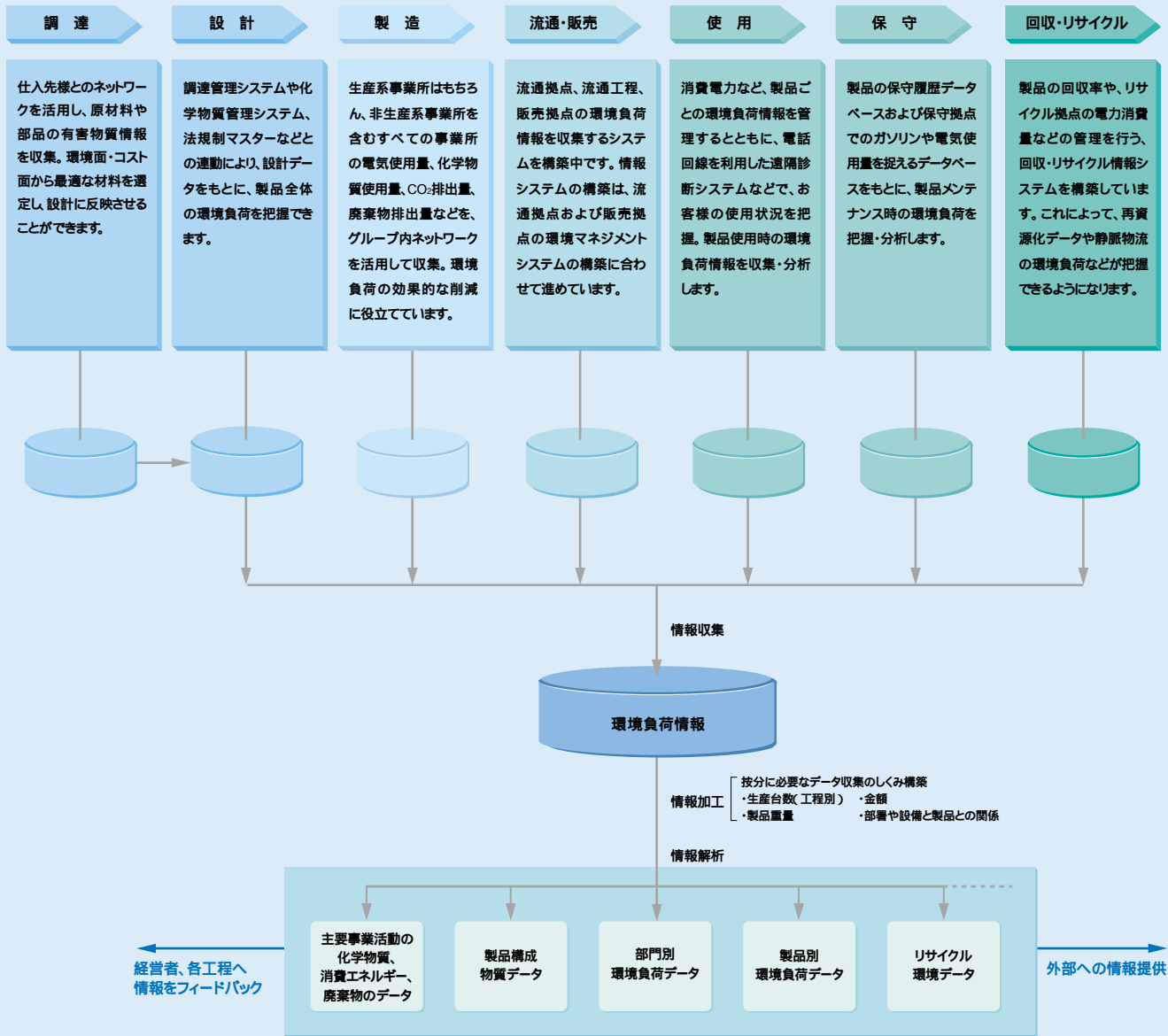
環境会計システム

経営資源を有効に環境保全に活用するための情報システムで、経理システムの一部として稼働を始めています。将来はエコバランスに基づいて、リコーグループのすべての環境活動への投資と、それに対する環境保全効果および経済効果を把握していきます。



環境負荷情報システム

環境負荷情報システム(構想図)



環境改善事例の水平展開

リコーグループの各事業拠点で、さまざまな工夫をこらした環境活動が行われています。これらのノウハウや成果をグループ内で共有し、効率的に水平展開していくためのデータベースです。将来的には、このデータベースに蓄積されたリコーグループの活動事例を広く世の中に開示していきます。

法規制・環境ラベル情報の共有化

国内外の環境法規制や環境ラベル規格の要求事項・最新改訂情報などを、リコーグループ内で共有するためにデータベース化しています。最新の環境性能を持った製品の開発や、事業所運営に役立てていきます。

社会コミュニケーションのための情報データベース

リコーの環境保全への取り組みに対して、国内外のお客様や各機関から多くの問い合わせが入ります。これらに対して迅速に回答し、2ウェイコミュニケーションが図れるよう、データベース化を進めています。この情報は、お客様や社会の声として経営に反映されます。